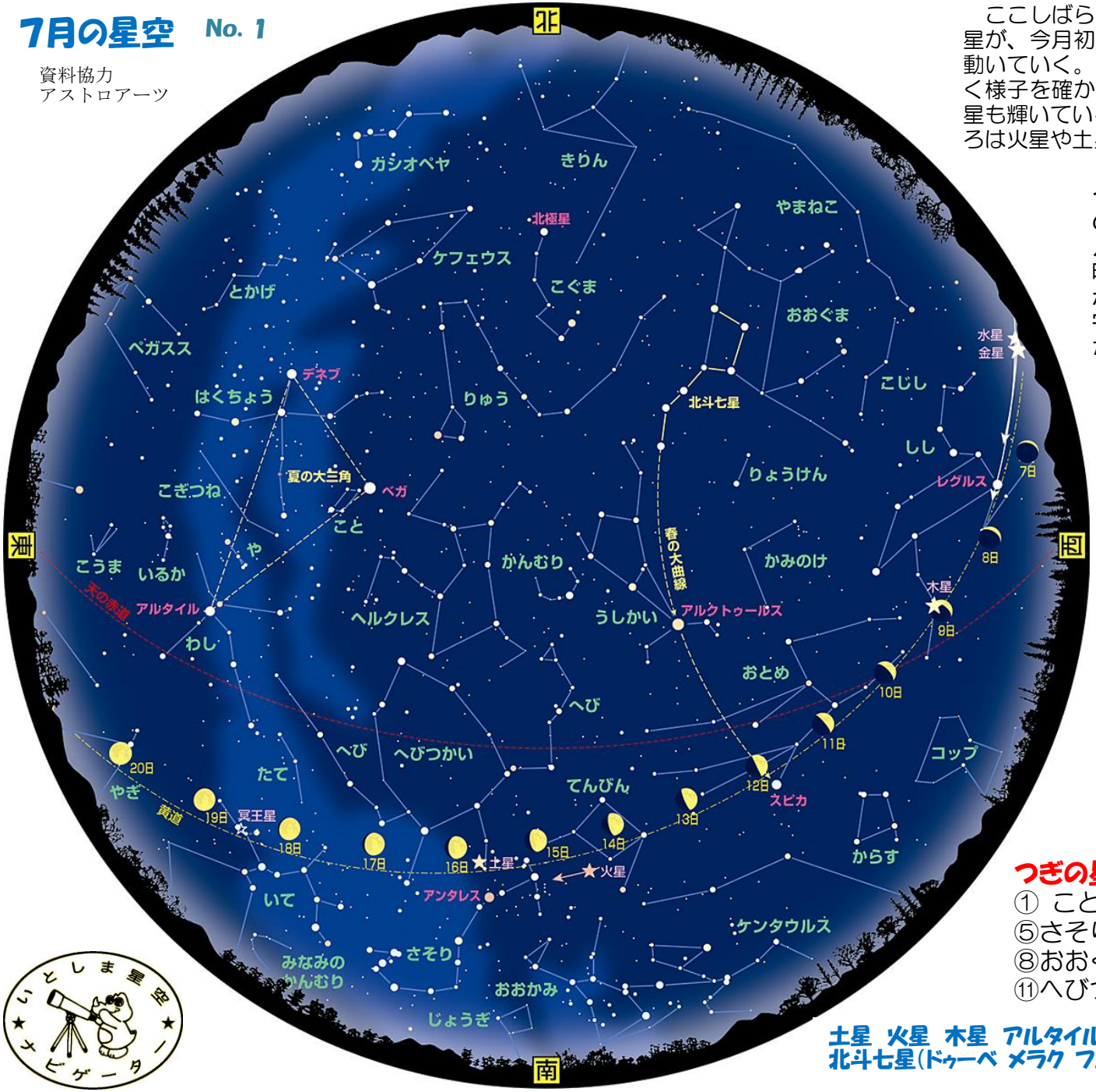
7月の星空　No. 1

資料協力
アストロアーツ



ここしばらくの間さそり座からてんびん座を逆行していた火星が、今月初めから再び順行に転じて星々の間を西から東へと動いていく。日を追うごとに少しずつアンタレスに近づいていく様子を確かめてみよう。アンタレスの上には見ごろが続く土星も輝いている。天体望遠鏡で環を観察しよう。14～16 日ごろは火星や土星の近くに月も並ぶ。

宵の東の空には夏の大三角が上ってきている。3 つの星のうちベガとアルタイルは、それぞれ七夕のおり姫星（織女星）とひこ星（牽牛星）だ。7 月 7 日にはまだ梅雨が明けていない地域が多く、晴れた夜空を見上げるのは難しいかもしれないが、ライトダウンキャンペーンなどと共に、星や宇宙、地球のことを考える日としてみてはいかがだろうか。なお、今年の伝統的七夕は 8 月 9 日。

土星を見つけよう

美しい環があることで有名な土星は、地球の約 9 倍の大きさ（環を含まない大きさ）を持つ巨大な惑星です。太陽からおよそ 14 億 km 離れており（太陽～地球の約 10 倍）、30 年かけて公転しています。

2016 年の土星は「へびつかい座」に位置しており、9 月の下旬ごろまで、宵の空に見えます。明るさは約 0 等級で、黄白色に輝いています。土星の近くには、赤く明るく輝く火星や、同じく赤く光るさそり座のアンタレスが並んでいます。色や明るさの違いを見比べてみましょう。

土星が南中する（真南に来て、地平線からの高度が最も高くなる）のは、6 月中旬で夜 11 時過ぎ、7 月中旬で夜 9 時過ぎ、8 月中旬で夕方 7 時ごろ（日没前後）です。また、南中から沈むまでは約 5 時間です。南中時でも高度は 35 度ほどとあまり高くならないので、空が暗くなったらなるべく早めに観察しましょう。

つぎの星座や星はどこ？？

① こと座　②はくちょう座　③わし座　④いて座
⑤さそり座　⑥ヘルクレス座　⑦うしかい座
⑧おおぐま座　⑨こぐま座　⑩おとめ座
⑪へびつかい座

土星　火星　木星　アルタイル　デネブ　ベガ　アルクトゥールス　スピカ　北極星
北斗七星(ドゥーベ　メラク　フェクダ　メグレズ　アリオト　ミザール　アルカイド)

いとしま星空ナビゲーター